

大田区立郷土博物館 年報

平成 29年度

(2017年)

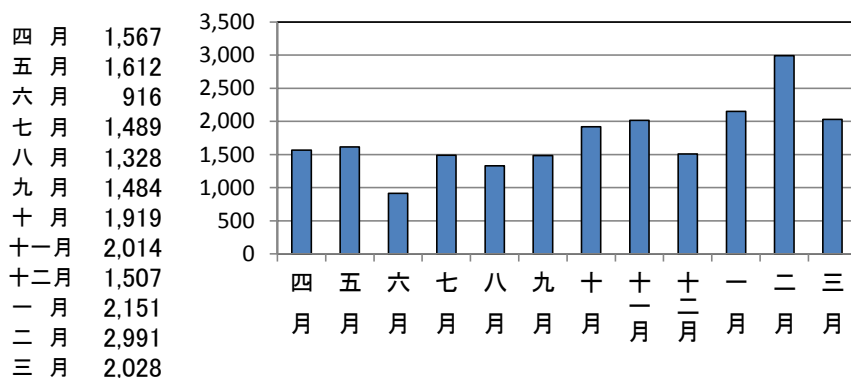
平成29年4月～平成30年3月

目次

月別入館者数	1
年間入館者数	2
特別展「麦わら細工の世界」開催要旨・入館者数	3
特別展「麦わら細工の世界」開催事業	4
特別展「堀越保二 野鳥と自然をみつめて」開催要旨・入館者数	5
特別展「堀越保二 野鳥と自然をみつめて」開催事業	6
玄関ホールミニ展示	7
出張事業	8
常設展示案内	10
赤ちゃんと一緒に博物館へ	11
夏休み体験学習会	12
体験学習会、博物館講座	13
小学校団体利用人数	14
中学生職場体験・見学	15
教員研修	16
博物館実習	17
収蔵資料総数、奥付	18

《月別入館者数》

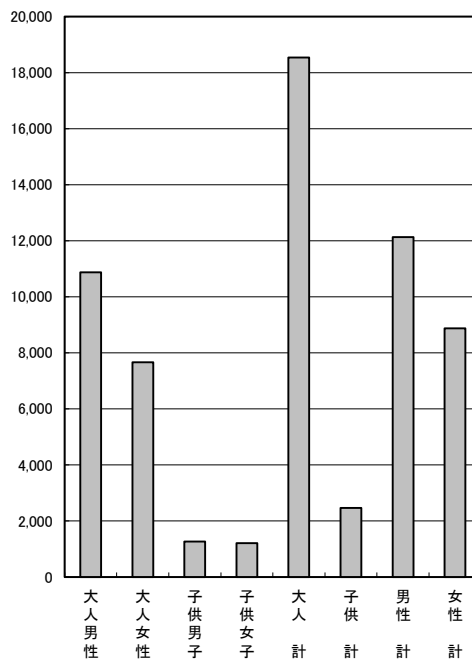
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	22	27	27	27	23	26	21	22	25	23	295
大人 男	862	760	507	665	662	910	1,094	1,023	796	1,030	1,525	1,036	10,870
大人 女	513	474	293	474	441	493	699	789	660	732	1,283	816	7,667
大人合計	1,375	1,234	800	1,139	1,103	1,403	1,793	1,812	1,456	1,762	2,808	1,852	18,537
子供 男	91	192	59	184	126	44	63	97	22	193	96	95	1,262
子供 女	101	186	57	166	99	37	63	105	29	196	87	81	1,207
子供合計	192	378	116	350	225	81	126	202	51	389	183	176	2,469
男性合計	953	952	566	849	788	954	1,157	1,120	818	1,223	1,621	1,131	12,132
女性合計	614	660	350	640	540	530	762	894	689	928	1,370	897	8,874
総合計 (団体含む)	1,567	1,612	916	1,489	1,328	1,484	1,919	2,014	1,507	2,151	2,991	2,028	21,006
一日平均	60	62	42	55	49	55	83	77	72	98	120	88	71
一般 団体数	4	8	2	6	2	6	9	9	7	6	14	10	83
人数	204	162	24	88	24	151	151	120	97	82	222	255	1,580
学校 団体数	1	2	0	1	0	0	1	1	0	3	1	1	11
人数	80	258	0	103	0	0	54	129	0	399	100	93	1,216
団体合計	5	10	2	7	2	6	10	10	7	9	15	11	94
団体人数	284	420	24	191	24	151	205	249	97	481	322	348	2,796



《年間入館者数》

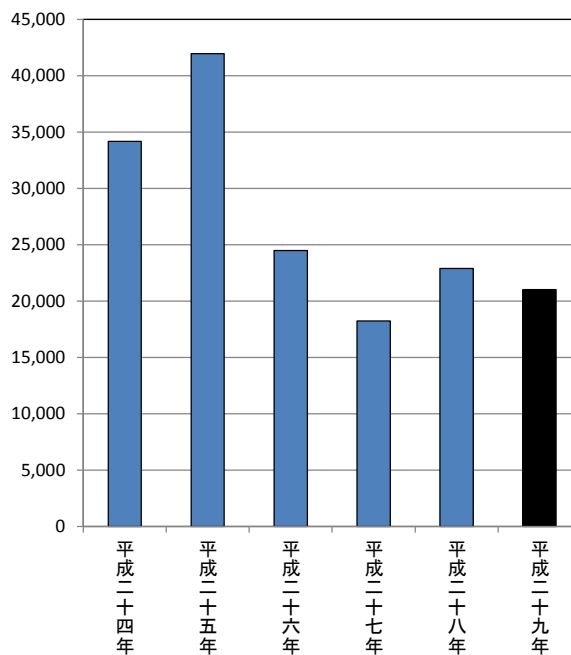
入館者総数	21,006 人	
開館日数	295 日	
一日平均	71 人	
大人男性	10,870 人	
大人女性	7,667 人	
大人 計	18,537 人	
子供男子	1,262 人	
子供女子	1,207 人	
子供 計	2,469 人	
男性合計	12,132 人	
女性合計	8,874 人	
一般団体	83	1,580 人
学校団体	11	1,216 人
団体 計	94	2,796 人
一般利用者	87%	18,210 人
団体利用者	13%	2,796 人

大人男性 10,870
 大人女性 7,667
 子供男子 1,262
 子供女子 1,207
 大人 計 18,537
 子供 計 2,469
 男性 計 12,132
 女性 計 8,874



過去5年間の入館者数

年 度	開館日数	入館者総数	一日平均
平成 24年度	299日	34,183 人	114人
平成 25年度	296日	41,964 人	142人
平成 26年度	301日	24,493 人	81人
平成 27年度	302日	18,230 人	60人
平成 28年度	296日	22,900 人	77人
平成 29年度	295日	21,006 人	71人



特別展

「麦わら細工の世界」開催要旨・入館者数

会期:平成29年10月28日(土)～12月24日(日) 担当学芸員:藤塚

わが国では産物の素材に「麦わら」を使うことは稀で、縄やワラジなど日常使う「わら細工」の多くは、繊維の強さから「稲わら」で作られてきた。そうした日本のわら細工の伝統の中で、麦わらの特徴に着目した珍しい細工物が江戸近郊の大森で作られ、「大森細工」「大森麦わら細工」と呼ばれていた。

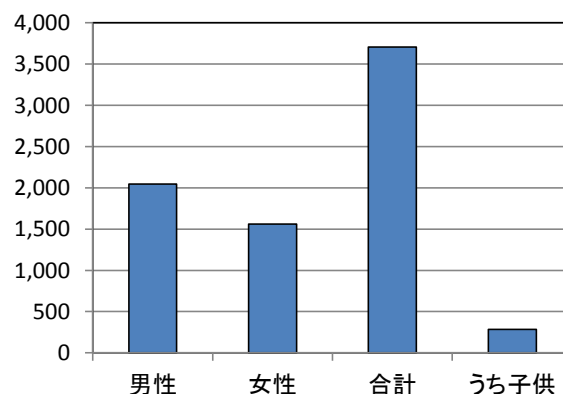
大森は、東海道の江戸から第一宿目「品川宿」と二宿目「川崎宿」との中ほどにあり、旅人の休む茶屋や荷物の付け送りをする問屋を備えた「間の宿」と言われる土地であった。そこにあった麦わら細工を商う土産物屋の様子は、『江戸名所図会』(1834～36)にも描かれている。店先には、「箱物」とも呼ばれた「張り細工」と、「捻り物」とも呼ばれた「編み細工」が並べられ、彩りある品々は街道を行き交う人々の眼を引いていた。

麦わらは中空のストローであることが特徴で、平らに開いて“のす”と艶やかなテープとなる。「張り細工は」、それを箱や板に張って絵模様を描き、艶やかな輝きを楽しませる。「編み細工」は、麦わらを管のまま編んで動物や器物の形を作り、家で待つ子への土産にはうってつけであった。

近代に入り人々の往来が鉄道へと移行すると、大森麦わら細工は衰退し、第二次大戦の頃に廃絶してしまった。それから、半世紀を経過した現在、かつての大森細工の復元を試みる活動が始まっている。

本展では、大森麦わら細工のほか、兵庫県の城崎麦わら細工、外国の麦わら細工、北欧の麦わらクリスマス飾りなども紹介し、身近な素材を活かした先人たちの技と美を楽しんでいただいた。

入館者総数	3,706 人
開館日数	50 日
一日平均	74 人
男性	2,045 人
女性	1,561 人
うち子ども	285 人



観覧料無料

特別展「麦わら細工の世界」開催事業

①講演会

開催日時	テーマ	講師	人数	
11月12日(日) 13:30～16:10	「海を渡った麦わら細工」	金子皓彦氏 (元・東京女学館大学教授、 輸出工芸研究家)	38	名
会場:2階会議室 無料				
38 名				

②フロア・トーク

No.	開催日時	内容	講師	人数	
1	11月3日(金・祝) 14:00～15:00	フロアトーク(展示解説等)	藤塚悦司	30	名
2	12月9日(土) 14:00～15:00		金子皓彦氏 (元・東京女学館大学教授、 輸出工芸研究家)	20	名
3	12月17日(日) 14:00～15:00		18	名	
68 名					男15女15
					男8女12
					男5女13

③体験催事

No.	開催日時	内容	講師	人数	
1	11月5日(日) 13:00～16:30	大森麦わら張り細工	鈴木百合子氏ほか (大森麦わら細工の会)	20	名
2	11月11日(土) ① 9:30～12:30 ② 13:30～16:30	稲わら細工・しめ飾りづくり	中島安啓氏・佐藤高志氏ほか (川崎市日本民家園民具製作技 術保存会)	41	名
3	11月19日(日) 10:00～16:00	大森麦わら編み細工	中野朝司氏ほか (大森麦わら細工の会)	20	名
4	12月3日(日) ① 9:30～12:30 ② 13:30～16:30	麦わらのクリスマスリース作り	森由美子氏(フラワーコーディネータ・海外のクリスマス麦わら細工収集家)	39	名
5	12月10日(日) 10:00～16:00	大森麦わら象嵌細工	鈴木百合子氏 ほか (大森麦わら細工の会)	30	名
150 名					男5女15
					男8女33
					男2女18
					男2女37
					男3女27

④実演と体験

No.	開催日時	内容	講師	人数	
1	11月25日(土) ①10:30～12:00 ②15:00～16:00	修善寺麦わら細工の実演「川端龍子の図案による麦わら細工」	辻 紀子氏 (修善寺麦わら細工「農」)	18	名
2	11月26日(日) ①10:30～12:00			11	名
3	11月25日(土) 13:00～15:00	修善寺麦わら細工「豆色紙づくり」 (平成30年の干支「戌」または区の花「梅」など)		18	名
4	11月26日(日) 13:00～15:00			11	名
58 名					男1女17
					男2女9
					男1女17
					男2女9

特別展

「堀越保二 野鳥と自然をみつめて」開催要旨・入館者数

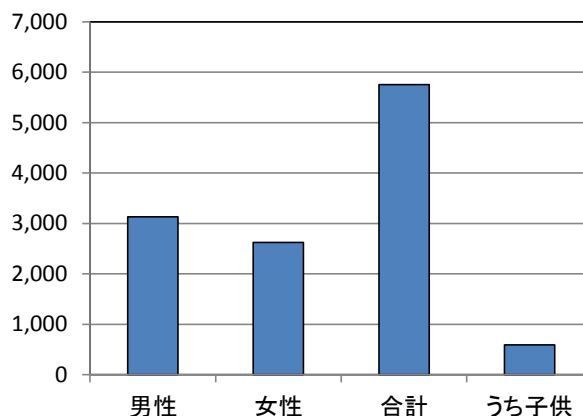
会期:30年1月7日(日)～3月4日(日) 担当学芸員:藤塚

東京藝術大学名誉教授の堀越保二氏は、海にひろがる大田区の風土が生んだ日本画家である。昭和14(1939)年に大森北で生まれ、大田区の花の町で少年時代を過ごし、日本画家として歩み始めた時期に、埋立造成とそこに飛来する野鳥をつぶさに観察する機会を得たのであった。その観察がきっかけとなり、昭和53(1978)年開園の「大井第七埠頭公園」(大井野鳥公園)、平成元(1989)年に拡大開園の「東京港野鳥公園」の生い立ちにも深く関わるようになった。

堀越氏は大森の海岸に着想を得た浪漫的な超現実の作風により、日本画の新感覚派と呼べる新世代の旗手として美術界に知られる存在となった。そして、野鳥から日本の自然、里山風景へと視野が広がるとともに、堀越氏ならではの暖かく優しい眼差しの日本画の世界が確立されていったのであった。

本展では、身近な自然環境を考える活動と絵画制作を共存させてきた堀越保二氏の作品29点を紹介した。

入館者総数	5,755 人
開館日数	51 日
一日平均	113 人
男性	3,133 人
女性	2,622 人
うち子ども	591 人



観覧料無料

【同時開催】

会場：東京港野鳥公園内ネイチャーセンター

企画展：「堀越保二の残した野鳥公園 今・昔」

会期：平成30年1月7日(日)～3月11日(日)

内容：野鳥公園のできたころの写真や、堀越氏のスケッチ等を紹介

特別展「堀越保二」開催事業

①講演会

No.	開催日時	テーマ	講師	人数	
1	2月4日(日) 13:30~16:00	「日本画における堀越保二の世界」	薩摩雅登氏(東京芸術大学大学美術館教授)	95	名
2	2月11日(日・祝) 13:30~16:00	「大井埋立地と堀越保二」	増田直也氏(環境省環境カウンセラー NPO法人リトルターンプロジェクト前代表)	84	名

男55女40

男37女47

会場:2階会議室 無料

179 名

②見学会

東京港野鳥公園の前身、大井第七埠頭公園の面影を残す自然生態園保護区(普段は立ち入り禁止の保護区)を日本野鳥の会東京港レンジャーが案内。ネイチャーセンターにて、野鳥公園の歩みを映像を交えたレクチャーで振り返る見学会。

開催日時	内容	対象	人数	
2月18日(日) 10:00~12:00	「野鳥公園見学会 堀越保二の残した野鳥公園 今・昔」	定員:30人 対象:中学生以上 費用:無料 別途入園料	25	名

男10女15

25 名

《玄関ホールミニ展示》

展示期間	展示テーマ	担当
4月30日(日)～7月20日(木)	清明文庫の歴史－(仮称)勝海舟記念館への歩み－	築地
7月21日(金)～9月22日(金)	大田区と戦争－記録と記憶－	眞坂
9月23日(土)～11月19日(日)	大田区の弥生土器－どう違う? どう変わる?－	斎藤
1月7日(日)～3月4日(日)	台所から見た古墳時代後期の東大田	林
3月10日(土)～5月20日(日)	清明文庫と海舟・南洲	築地

《出張事業》

No.	月 日	出張事業名	会 場	参加人数		時 間	出張者	区分
1	4月19日(水)	古墳解説(東京学芸大学附属世田谷小学校6年生)	多摩川台公園および古墳展示室	106	人	9:45-11:30	斎藤	現地案内
2	4月24日(月)	古墳解説(東調布第一小学校6年生)	多摩川台公園および古墳展示室	108	人	9:40-11:30	斎藤	現地案内
3	4月27日(木)	古墳解説(洗足池小学校6年生)	多摩川台公園および古墳展示室	56	人	9:45-11:30	斎藤	現地案内
4	5月9日(火)	古墳解説(川崎市立西丸子小学校6年生)	多摩川台公園および古墳展示室	95	人	10:00-11:30	斎藤	現地案内
5	6月22日(木)	平成29年度(仮称)勝海舟記念館PR事業「勝海舟と麗しの洗足池」	洗足池図書館	23	人	14:00-16:00	築地	講座
6	6月23日(金)	平成29年度(仮称)勝海舟記念館PR事業「勝海舟と麗しの洗足池」	洗足池図書館	16	人	14:00-16:00	築地	講座
7	6月24日(土)～ 7月23日(日)	学友館特別展「川瀬巴水 東日本を旅する」	美郷町学友館(秋田県)	1008	人	—	眞坂	展示
8	6月24日(土)	学友館特別展「川瀬巴水 東日本を旅する」ギャラリー・トーク①	美郷町学友館(秋田県)	25	人	10:00-10:45	眞坂	展示解説
9	7月1日(土)	平成29年度(仮称)勝海舟記念館PR事業「勝海舟と麗しの洗足池」	洗足区民センター	21	人	14:00-16:00	築地	講座
10	7月23日(日)	学友館特別展「川瀬巴水 東日本を旅する」ギャラリー・トーク②	美郷町学友館(秋田県)	20	人	15:00-15:45	眞坂	展示解説
11	7月4日(火)	講座「大田区・大森の歴史を知る」	株式会社三井住友銀行 大森法人営業部	50	人	16:00-17:00	乾	講座
12	7月6日(木)～ 8月31日(木)	パネル展示「久ヶ原遺跡の弥生土器」	久が原特別出張所区民 ギャラリー	—	—	—	斎藤	展示
13	7月14日(金)	日本大学文理学部資料館での現地見学会	日本大学文理学部資料 館	4	人	9:50-12:30	林	現地案内
14	7月15日(土)	博物館施設等見学実習	郷土博物館会議室	30	人	15:00-17:00	斎藤	講座・ 館内案内
15	8月19日(土)	大田区立洗足区民センター自主事業ミニ 企画「清明文庫の歴史-(仮称)勝海舟記念 館への歩み 洗足池と勝海舟関係遺跡・文 化財について」	洗足区民センター	16	人	13:30-16:00	築地	講座・ 展示解説
16	9月16日(土)	大田区立洗足区民センター自主事業ミニ 企画「清明文庫の歴史-(仮称)勝海舟記念 館への歩み 洗足池と勝海舟関係遺跡・文 化財について」	洗足区民センター	19	人	13:30-16:00	築地	講座・ 展示解説
17	9月30日(土)	大田区立洗足区民センター自主事業ミニ 企画「清明文庫の歴史-(仮称)勝海舟記念 館への歩み 洗足池と勝海舟関係遺跡・文 化財について」	洗足区民センター	11	人	13:30-16:00	築地	講座・ 展示解説
18	11月8日(水)	明治大学リバティアカデミー講座「博物館を ゆく」	旧清明文庫	24	人	14:00-16:00	築地	現地案内
19	11月8日(水)	大森麦わら細工体験教室(梅田小学校 4 年生)	梅田小学校	150	人	8:30-12:00	藤塚	体験教室
20	11月10日(金)	総合的な学習の時間「麦わら細工を調べよ う」(大森第一小学校 4年生)	大森第一小学校	150	人	8:45-10:20	藤塚	体験教室
21	12月5日(火)	蒲田の歴史と文化を知る勉強会「蒲田の歴 史と文化を再発見！」	株式会社三井住友銀行 蒲田支店セミナール ーム	50	人	16:00-17:00	乾	講座
22	1月19日(金)	第1回 矢口地区歴史講座「矢口地区の近 代的まちづくり」	矢口特別出張所	35	人	14:30-16:30	築地	講座
23	1月26日(月)	大森麦わら細工体験教室(東糀谷小学校 4年生)	東糀谷小学校特活室	81	人	8:40-11:30	藤塚	体験教室
24	2月15日(木)	H29年度さわやかカレッジ 第4回教養講座 「明治時代の勝海舟」講演会 ひろばの会 (雪谷文化センター利用の会)	雪谷文化センター第1集 会室	75	人	13:30-15:00	築地	講座

No.	月 日	出張事業名	会場	参加人数		時間	出張者	区分
25	2月22日(木)	千束歴史の会「馬込村の飛地 千束を考える」	公益社団法人洗足風致協会会議室	13	人	13:30-16:00	築地	講座
26	2月28日(水)～ 3月13日(火)	勝海舟コーナー パネル展示	グランデュオ蒲田 3階 東西連絡通路	—	—	—	築地	展示
27	3月16日(金)	麦わら細工の歴史と六郷	六郷地域力推進センター4階会議室	23	人	14:00-16:00	築地	講座
28	2月19日(月)～ 3月31日(土)	特別展示「黄金の輝き 麦わら細工の歴史と伝統」	六郷地域力推進センター1階ロビー	—	—	—	築地	展示

《常設展示案内》

No.	開催日時	内容	対象	担当	人数		内訳
1	4月30日(日) 14:00~15:00	作家の原稿を見てみよう	どなたでも 参加無料	眞坂	5	名	大人(男)3、大人(女)2
2	5月28日(日) 14:00~15:00	昔の道具を触ってみよう	どなたでも 参加無料	藤塚	8	名	大人(男)2、大人(女)2、子供(男)1、 子供(女)3
3	10月8日(日) 14:00~15:00	まちの成り立ちを見てみ よう	どなたでも 参加無料	築地	22	名	大人(男)12、大人(女)10
4	3月18日(日) 14:00~15:00	土器の変化を見てみよう	どなたでも 参加無料	林	15	名	大人(男)6、大人(女)8、子供(女)1

《赤ちゃんと一緒に博物館へ》

◎ 第1回

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
6月1日	木	10:00 ↓ 11:30	0～2歳未満の赤ちゃんを持つ家族を対象とした催事。前半はボランティアの協力のもと、乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを行い、後半は、保護者向けに学芸員による常設展示(考古展示室)の解説を行った。	ねんじっこお話の会 眞坂オリエ 斎藤あや	大人男性 0名 大人女性 10名 男児 6名 女児 4名 計 20名

◎ 第2回

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
11月2日	木	10:00 ↓ 11:30	0～2歳未満の赤ちゃんを持つ家族を対象とした催事。前半はボランティアの協力のもと、乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを行い、後半は、保護者向けに学芸員による特別展示(「麦わら細工の世界」)の解説を行った。	ねんじっこお話の会 藤塚悦司 眞坂オリエ 斎藤あや	大人男性 0名 大人女性 10名 男児 7名 女児 3名 計 20名

◎ 第3回

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
2月1日	木	10:00 ↓ 11:30	0～2歳未満の赤ちゃんを持つ家族を対象とした催事。前半はボランティアの協力のもと、乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを行い、後半は、保護者向けに学芸員による特別展示(「堀越保二」)の解説を行った。	ねんじっこお話の会 藤塚悦司 眞坂オリエ 斎藤あや	大人男性 0名 大人女性 8名 男児 5名 女児 3名 計 16名

《夏休み体験学習会(子ども対象事業)》

◎ 勾玉づくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月21日	金	①13:30-16:00	滑石をヤスリなどで研磨・加工して、自分だけの勾玉を作った。	御園生誠子氏 斎藤あや	男性 10人
					女性 19人
					計 29人
7月22日	土	②9:30-12:00 ③13:30-16:00		御園生誠子氏 斎藤あや	男性 21人
					女性 37人
					計 58人

◎ 麦わら遊び「ホタルカゴづくり」

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月25日	火	13:00 ↓ 16:00	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業や夏の遊びを振り返った。	藤塚悦司	男性 19人
					女性 11人
					計 30人

◎ 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月27日	木	13:00 ↓ 16:00	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品作りをした。	藤塚悦司	男性 5人
					女性 11人
					計 16人

◎ 大麦の脱穀と麦こがしづくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月4日	金	10:00 ↓ 16:00	昔の農具を使って、麦を脱穀して麦こがしや麦茶づくりなどを体験した。	藤塚悦司	男性 12人
					女性 5人
					計 17人

◎ 六郷のとんび凧づくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月18日	金	10:00 ↓ 16:00	和紙と竹ひごを使ってトンビ(鳶)の形をした凧を作った。	六郷とんび凧の会 藤塚悦司	男性 6人
					女性 8人
					計 14人

◎ 土や石でつくった大昔の道具にさわってみよう

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月20日	日	14:00 ↓ 15:00	展示解説後に大昔の道具(土器や石器)に触り、当時の生活を学んだ。	斎藤あや 林正之	男性 11人
					女性 6人
					計 17人

◎ 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月24日	木	13:00 ↓ 16:00	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品作りをした。	鈴木百合子氏 藤塚悦司	男性 7人
					女性 13人
					計 20人

《体験学習会》

◎ 縄文土器づくり(第1回)

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
9月3日	日	13:00 ↓ 14:30	土器の材料(2種類の粘土と砂)を混ぜて、生地を作る。	友の会 林正之・斎藤あや	男性 3名 女性 6名 計 9名

◎ 縄文土器づくり(第2回)

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
9月10日	日	10:00 ↓ 16:00	縄文土器を観察し、オリジナルの土器を成形・整形する。	加藤緑氏 林正之・斎藤あや 友の会	男性 3名 女性 7名 計 10名

◎ 縄文土器づくり(第3回)

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
9月24日	日	10:00 ↓ 16:00	整形した土器を平和島キャンプ場で野焼きする。	加藤緑氏 林正之・斎藤あや 友の会	男性 7名 女性 6名 計 13名

《博物館講座》

◎ 安藤広道先生と歩く、久ヶ原遺跡ツアー

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
3月21日	水・祝	13:00 ↓ 16:00	郷土博物館で常設展示や弥生土器を解説後、久ヶ原遺跡を歩いた。	安藤広道氏 (慶応義塾大学文学部教授) 斎藤あや・林正之	男性 5名 女性 7名 計 12名

《小学校団体利用人数》

No.	月 日	曜日	時間	学 校 名	学 年						生徒数	引率数	人 数 計
					1	2	3	4	5	6			
1	4月18日	火	13:50-15:00	馬込第二小学校						○	77	3	80
2	5月11日	木	9:00-10:00	梅田小学校			○				139	4	143
3	5月16日	火	10:45-11:45	山王小学校						○	110	5	115
4	7月6日	木	13:15-14:15	大森第一小学校			○				97	6	103
5	10月5日	木	13:30-14:30	羽田小学校			○				50	4	54
6	11月21日	火	13:50-14:50	高畑小学校			○				123	6	129
7	1月19日	金	9:00-11:45	梅田小学校			○				140	4	144
8	1月23日	火	9:30-11:00	馬込第二小学校			○				66	2	68
9	1月30日	火	9:30-11:00	池雪小学校			○				181	6	187
10	2月15日	木	10:00-11:00	徳持小学校			○				97	3	100
11	3月16日	金	9:00-11:00	矢口小学校			○				87	6	93

11 校

1216 人

《中学生職場体験・見学》

担当: 斎藤・築地

	日時	時間	学年	学校名	人数	内容(担当)
職場体験	9月19日(火)～ 9月21日(木)	9:00～12:00、 13:00～15:30	2	貝塚 中学校	4人 (男子4)	博物館案内(斎藤)、資材の梱包材料 づくり(斎藤・林)、歴史資料・民俗 資料・考古資料の整理と活用(眞坂・ 築地・乾・林・斎藤)
	1月23日(火)～ 1月25日(木)	9:00～12:00、 13:00～15:30	2	南六郷 中学校	3人 (女子3)	博物館案内(斎藤)、資材の梱包材料 づくり(斎藤・林)、歴史資料・民俗 資料・考古資料の整理と活用(眞坂・ 築地・乾・藤塚・林・斎藤)
見学	11月10日(金)	14:00～15:00	1	馬込 中学校	6人 (男子3、 女子3)	「総合的な学習の時間」の一環。事前 の質問票に沿ってインタビューを受け た(斎藤)

《教員研修》

◎ 勾玉づくり

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月21日	金	滑石をヤスリなどで研磨・加工して、自分だけの勾玉を作った。	御園生誠子氏 斎藤あや	男性6人 女性8人 計14人

◎ 麦わら遊び「ホタルカゴづくり」

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月25日	火	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業や夏の遊びを振り返った。	藤塚悦司	男性 1人 女性 7人 計 8人

◎ 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
7月27日	木	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品作りをした。	金子皓彦氏 藤塚悦司	男性 2人 女性 9人 計 11人

◎ 六郷用水

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月2日	水	会議室で六郷用水の歴史等を学んだ後、午後から実際の用水跡を歩いた。	吉田千恵子氏 築地貴久	男性 7人 女性 8人 計 15人

◎ 大麦の脱穀と麦こがしづくり

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月4日	金	昔の農具を使って、麦を脱穀して麦こがしや麦茶づくりなどを体験した。	藤塚悦司	男性 7人 女性 7人 計 14人

◎ 六郷のとんび凧づくり

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月18日	金	和紙と竹ひごを使ってトンビ(鳶)の形をした凧を作った。	六郷とんび凧の会 藤塚悦司	男性 1人 女性 2人 計 3人

◎ 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

月 日	曜日	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月24日	木	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品作りをした。	鈴木百合子氏 藤塚悦司	男性 3人 女性 5人 計 8人

《博物館実習》

担当(総括): 斎藤

月 日	実 習 内 容		担 当	実習場所
	午 前	午 後		
8月1日(火)	担当挨拶 事務室・職員顔合わせ 実習ガイダンス 館内見学	組織の仕組みと仕事について	菊澤	第一研究室
		管理業務の説明 (郷土博物館・海苔のふるさと館)	石井・成川	第一研究室
				第一研究室
		文化財業務の説明 (文化財・埋蔵文化財)	田島	第一研究室
2日(水)	特別展の進め方	博物館展示新プラン説明・作成	斎藤	第一研究室
3日(木)	多摩川台古墳展示室の見学	博物館展示新プラン作成、4日の催事の準備	斎藤・藤塚	古墳展示室 第一研究室
4日(金)	体験学習・教員研修 参加と検討「大麦の脱穀とむぎこがしづくり」		藤塚	会議室
5日(土)	博物館資料整理の実務(歴史)	博物館展示新プラン作成	眞坂・斎藤	会議室
6日(日)	博物館資料整理の実務(民俗)	博物館展示新プラン作成	乾・斎藤	第一研究室
7日(月)	休日			
8日(火)	区内施設の見学(清明文庫)	博物館資料整理の実務(考古)	築地・斎藤	旧清明文庫 馬込分室
9日(水)	博物館展示新プラン作成	博物館展示新プラン作成	斎藤	第一研究室
10日(木)	博物館展示新プラン作成	博物館展示新プランの発表・質疑応答・実習まとめ	全員	会議室

実習生 5名

	大 学 名
1	明治大学文学部文学科
2	鶴見大学文学部文化財学科
3	立正大学文学部史学科
4	東洋大学文学部史学科
5	筑波大学大学院人間総合科学研究科

《收藏資料総数》

	寄贈資料	購入資料	複製資料	出土資料	合計	收藏資料累計
考古	1	0	0	182	183	38,274
歴史	434	36	2	0	472	11,166
民俗	1	36	0	0	37	3,658
その他	0	0	0	0	0	5,298
合計	436	72	2	182	692	58,396

※ 寄贈資料の点数が多数あるものについては、一括・1点として計算したものもある。

※ 考古の收藏資料累計について、昨年度まで寄贈資料を含めていなかったため、今年度から追加した。

当館の收藏資料総数

58,396 点

平成29年度(平成30年3月31日現在)

大田区立郷土博物館年報 平成29(2017)年度

発行日 2018年8月20日

編集・発行 大田区立郷土博物館

〒143-0046 大田区南馬込五丁目11番13号

TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283